

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ		
英文授業科目名	Advanced Internship		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	演習	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名			
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
shouno@ice.uec.ac.jp	http://www.crc.uec.ac.jp/japanese/index.html

【主題および達成目標】
<p>(a)目的 企業などの現場における実習・研修を体験することによって、知識と実際の技術の関連や経済性、信頼性と安全性、勤労の尊さなどについて体得することを目的とする。 また、実習・研修を体験して自己の職業適性や将来設計について深く考える契機とし、学問の重要生と勉学の意義を一層理解し、今後の勉学方法、進路決定の一助とする。</p> <p>(b)達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産、技術、研究開発、流通、サービスなどの実際に関心と興味を深める。 ・人的交流・協力の必要性と、職業人としての自立の在り方を考え、将来の職業人としての心構えと抱負を養う。 ・実際の問題に当面することによって、それに対処できる能力を養う。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
専門基礎科目、専門科目を多く履修しておくこと、学問の実践的な活用についての実感を得やすくなる。

【教科書等】
4月中旬または下旬にガイダンスが行われ、その際にインターンシップ実施に関する資料が配布される。

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

実習先の方針に従う。

(b) 授業の進め方

(1) 説明会

(2) 希望票提出(第1回、第2回)

(3) 面接

(4) インターンシップ実施先内定通知

(5) 諸手続き後、実施先正式決定通知

(6) インターンシップ実施(3週間~4週間、計90時間以上)、8月~9月

(7) 報告書や修了書を提出。面接。

(c) 授業時間外の学習(予習・復習等)について

実習先の方針に従う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

実習先からの「インターンシップ修了書」(実習先責任者による報告,出席状況を含む)と「インターンシップ報告書」(A4用紙数枚にまとめたレポート)によって、総合的に評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

随時相談に対応するが、あらかじめメールなどで連絡すること。

企業への応募や実施に当たっては、共同研究センターの担当者の指示に従うこと。

共同研究センターの担当者：

中野 喬 客員教授、本多 武 客員教授、三國 弘子(事務)

共同研究センター2階201

電話：0424-43-5778、

電子メール：intern@crc.uec.ac.jp

【学生へのメッセージ】

インターンシップは、企業などの現場で短期的な実習を行うことによって、大学の講義では得られない数々のことを学び、社会で働くことの意味を考えることができる貴重な機会である。

社会と直接の接点をもつ最初の貴重な機会となるので、学生であると同時に社会人としての責任や礼儀作法をわきまえた行動が要求される。

電気通信大学 平成20年度シラバス

インターンシップの目的と意義を十分に自覚し、研修の実があがるよう積極的な姿勢で取り組むこと。

【その他】